



さくら

令和2年8月3日号
桜小学校長 発行

<http://sakura-e.yatomi-schoolnet.jp/>

差別・偏見・誹謗中傷はやめて！

先日こんな新聞記事を目にしました。

「コロナ怖いが中傷もつらい」

(7月30日 中日新聞朝刊より)

〇〇市内で新型コロナウイルスのクラスターが発生したとして、市が店名を公表した飲食店の経営者が本誌の取材に「コロナも怖い、ネットでの中傷もつらい」と心境を吐露した。

経営者は「まるで犯罪者のよう。みんな家族がいるのに・・・」と語る。LINE（ライン）やツイッターで、「この人、陽性なんだって」などという言葉とともに、店員や顧客の実名や写真などが流出。中には幼い子どもと一緒に写った写真もあった。

経営者自身は、念のためPCR検査を受け陰性だった。それでも「オーナーが感染拡大したらしい」と事実と異なるうわさがネットで流れた。子どもと一緒に買い物に出かけると、見知らぬ人に携帯画面と経営者の顔を何度も見比べられた。

店は感染対策として客を絞り、利用した顧客リストを作成し、ドアを開けっ放しにするなど、店内の換気や消毒に努めていた。市は、「客をしっかりと特定できる名簿があり、非常に優良な協力店」としている。

公表は「仕方なかった」と感じているが、感染者を断罪するような一部の空気は間違いだと思う。「根も葉もない情報までネットでばらまかれてしまう。そうなったら、社会的に生きていけない」

この新聞記事を見て心が痛みました。悲しいことですが、新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い、感染者・濃厚接触者のみならず医療従事者、そのご家族などに対する偏見や差別が広がっています。一例としては、新型コロナウイルスと闘っている看護師さんの夫が職場で『奥さんが仕事を辞めないのならあなたが会社を辞めて』と心無い言葉を浴びせられたそうです。また、ある看護師さんは、自分の子どもが通う保育園の他の保護者から『保育園に通わせないで』と言われたそうです。さらに、宅配業者の配達員が「コロナを運ぶな」と除菌スプレーをかけられるなどの事例が発生しているようです。

しかし、**このような差別、偏見、いじめ、SNSやLINEでの誹謗中傷等は絶対にあってはならないことです。コロナは誰でもかかる可能性があり、感染したからといって、感染した人は悪くありません。知り合いなどにコロナの疑いや感染者が出て、むやみに感染者を特定したり、SNSやLINEなどで個人情報やうわさを流したりしてはいけません。**

前号でお知らせしましたが、コロナ禍において、子どもたちが海南病院へ送ったメッセージは、地域の温かい話題となっています。学校では、子どもたちにも繰り返し話をしていきますが、保護者の皆様も、不確かな情報に惑わされ人権を侵害することのないよう、正確な情報を入手し、冷静な行動を心がけるようお願いします。

つらい思いをする人を増やさないために、一人一人にできることを一緒に考えてみましょう。今後とも、さまざまな面でご協力いただくことがあると思います。よろしくお願いします。

【お 願 い】

- ① 個人懇談会のために来校される際、数日間の検温をお願いします。（チェック表は、お子様一人につき一枚の記入・提出をお願いします。）
また、マスクを着用し、昇降口で手指の消毒をお願いします。
- ② 8/8からの夏休み期間中も、お子様の健康チェック（検温等）を継続して行ってください。

些細な事故でも警察に連絡を！

交通事故が増えています。事故にあったとき、「大丈夫？」と聞かれ、「大丈夫です」と答え、家に帰ってしまうことがあります。しかし、後日けががひどくなり、連絡先が分からないということになります。

事故にあったときには、その大きさを問わず、必ず警察に連絡するようにしてください。学校でも話をしますが、ご家庭でもお伝えください。